

令和3年度第1回島根県企業局経営計画評価委員会

日 時 令和3年7月30日(金)

10:00～12:00

場 所 ホテル白鳥 3F 鳳凰の間

○委員長

まず、この暑い中、皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。様々な分野の委員の方々に来ていただきまして、本当にありがとうございます。活発な討論をしていきたいと思っておりますので、御協力よろしく申し上げます。

それでは、次第に沿って会議を進めます。

まず、議事の(1)令和2年度各事業の実績について、議事の(2)令和2年度各事業会計決算の概要について、そして議事の(3)企業局経営計画令和2年度の取組状況について、事務局から一括して説明をお願いします。

[事務局説明]

○委員長

ありがとうございました。

そうしますと、これから御意見、皆さんの御質問を諮りたいと思います。何でも結構でございますので、今の話の中でお願いしたいと思います。

○委員

失礼いたします。質問ではないのですが、資料3-1、電気事業のところで御報告がありました、供給電力量が目標値に達しなかったというところは、水力発電所のリニューアルというようなところでの要因が大きかったということでございますけれども、これ目標値は、もう今年度以降はほぼ目標値に達するという見込みでしょうか。

○企業局

リニューアル工事のほう順調に進めておりまして、今年度以降につきましては、目標どおり発電ができるものと考えております。

○委員

先般7月、大きな大雨によっていろいろな被害が出たときの災害対応というのは、非常に大切だなと私どもも改めて思ったところですけども、資料の3-1の取組内容という真ん中どころの②のところ、施設の適切な維持管理というところに、迅速な故障復旧対応という欄があって、これは水車分解の方法についてメーカーの技術者の手順というものを動画撮影して保存をされたとあります。それを見ることによって、誰でも迅速な対応ができるようになるじゃないかというような記載があることと、それと一方で資料3-5のところ、同じく取組内容のところ②の技術力の継承というところで、電気保安のスマート化というところに、設備の保守点検等はベテラン職員の経験等に依存しているというふうな記載があるのですが、実は私も先般講習があって、労働災害が起きないようにというところで、やはりいろんな意味でマニュアルが大切だという話がありました。特に日本は古くから人の背中を見て覚えろとか、例えば忘れたとかミスをしたときには気合が足りん、集中力が足らんとかというような気質があるんですけども、人間ってというのはやっぱり眠たくなったりするのは当たり前で、そのときどう対応するかっていうところをきちんとやるのが事故につながらないという話もあって、改めてこういうのって非常に誰が見てもすぐできるような体形立てたマニュアルってというのは、非常に大切だなということを感じたところです。その中で技術的な対応と、もう一つは最終的に市民の皆さん、県民の皆さんにこうこうっていう形でお知らせをしていかななくてはいけないんですけども、これもやはりどこまで出すのかという部分で、混乱を招かないということと、やはり迅速な協力を求めるというふうなところが必要になるわけで、あまり一律的な広報では必ずしも効果が出ないというふうなところもあっ

て、そういうことも含めた災害対応や、通常の業務の中で一連のマニュアル化というのは、非常に大切なことだなということで、さっき言われたこの動画を撮影してやっている取組というのはよろしいのではないかなと思ったところです。

○委員

資料3-1の電気事業についてですけれども、成果指標の中で再生可能エネルギーによるCO₂の削減ということで6万7,000トン相当の削減効果というものが記載してございますし、それから中段の⑧、利益の活用検討ということで今回のFITで一連のリニューアルによって大きな利益が出ていると思います。この活用策について地域振興部において再生可能エネルギー利活用総合推進事業を行っており、太陽光等と書いてございますが、こういったものに使っていくということで、非常に時流に即した方向性が示されているのではないかとお思います。御承知のとおり昨年来2050年脱炭素、温室効果ガスの排出ゼロを目指す政府も言っておりますし、先週でしたかエネルギー基本計画の見直しということで、電源構成を変えて、再生可能エネルギーの比率を4割近くまで引き上げるのだというような目標も示されたところでございます。

こうした中、この企業局さんにおける再生可能エネルギー、もう100%クリーンエネルギーということでございまして、大変これが貴重なものというふうに認識をいたしております。このクリーンエネルギーについて、例えば長野県だったと思うのですが、再エネの発電した電気を東京世田谷区だったと思うのですが、そちらに供給するというような取組をされているといったケースもありまして、やはり自治体におきましてもこうした取組、脱炭素に向けた取組ってというのは、非常に今後重視されていく時代ではないかなというふうに思っております。こうした潮流について、企業局様のほうにおかれましても、当然認識をされているというふうに思いますけれども、知事部局、横断的に各部局との連携した取組も含めまして、この脱炭素への基本的な

認識とか方向性といったようなものがあれば、何か御教授をいただければと思います。よろしく申し上げます。

○企業局

御意見ありがとうございます。御指摘いただいたとおりでございます。2050年のカーボンニュートラルゼロを目指して、再生可能エネルギーを増やしていくという大きな流れがあります。この中で当然私どもとしても、できることは精いっぱいやっていこうというふうに思っております。

まず、企業局としましては、既に再生可能エネルギーによる発電を行っていますので、この発電量を増やしていくということが、すなわち再生可能エネルギーの増加にもつながるし、CO₂削減にも直結するというので、これを最大限努力していくわけでありまして、発電の規模を大規模なものを新たに造ることができるかということ、なかなかそれはちょっと難しい状況でございます。水力発電の適地が、大規模な水力発電の適地が新たにあるかっていうと、なかなか難しいということがございます。これまで可能なところは取り組んでまいりました。例えば太陽光もそうです。適地があればそういうところで取り組んできておりますが、今太陽光、風力は民間の動きになっておりますので、ここを今から企業局が新たに手を出してってということは基本的には考えておりません。私ども考えていますのは、水力の分野で新たなものとして、少し資料の中でも触れておりますけれども、小水力発電の新たな適地について引き続き探っていくということでもあります。そうはいいまして小水力なので、抜本的に大きいものができるかというところではございませんが、できることは着実に進めていきたいと思っております。

それから、関連して水力発電のリニューアル工事進めております。これは新たな発電所を建設するわけではありませんが、古い発電所を新しいものに切り替えるということで、発電機の効率が上がるとか、そういった形で発電量の増に貢献できるのではないかというふうに考

えております。それから県全体としての再エネ導入の取組につきましては、施策的には地域振興部のほうが担っております。私どもの絡みといたしますと、先ほどおっしゃいましたように、FIT利益の一部を一般会計に繰り出しして、それを財源に再生可能エネルギー導入促進事業を行っていただいております。こうしたことは引き続きこれからも地域振興部と連携してやってまいりたいというふうに考えております。以上であります。

○委員長

ありがとうございました。

そのほか御意見ございませんでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、ほかに御意見、御質問がないようですので、今の御質問、それからお答えの続きになると思いますが、次の議題に入らせていただきます。

続きまして議事4、各事業の取組状況について、事務局から順次説明をお願いします。

[事務局説明]

○委員長

ありがとうございました。

ただいまの御説明について御意見、御質問等お願いしたいと思っております。

フェイスブックなどは相当丁寧に更新をされているのは、なかなかできないことだと思います。丁寧に情報発信されておられいつもすごいなと思っています。どこのホームページも大体ぽつぽつなっていくのですが、ずっと連続的にどなたかが一生懸命発信されているその御努力が、ちゃんと見ていますので、素晴らしいと思っています。

そのほかに意見がございましたら、今日の議題も含めて今後の企業局全般にわたる内容についても結構でございますので、今か

ら全てのことにに関して御質問受けたいと思います。どんな御意見、御感想でも結構でございますので。

何かこの江津の造成というのは、もうすごいとしか私は言いようがないのですが、地元としてご意見をお願いします。

○委員

山陰道の全線開通に向けて女性の会でずっと12年頑張ってきている中で、江津のほうに浅利からの部分ができただけでも、江津の工業団地にオファーがかかるっていうのは、聞いてはいたのですね。そして市長が造成のところを増やしているということも聞いたんですけど、それが企業局と関係があるということを全く私分かりませんでして、江津や江の川がたくさん出てきますので、何か参加するのに非常にちょっと楽しみになってまいりました。工業団地の造成につきましては、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○委員長

ありがとうございました。

一方で江島のほうで、何か感想を。

○委員

そうですね、とてもすばらしいことをたくさんやっていらっしゃるなと思って、私はとても感動しております。やっぱり私は原発がどうかという、そういう批判をする立場ではないので、それがいいとか悪いとかではなくって、自然の水とかそういうものを有効利用して使って発電しておられるということが、とても私にとってはすごくうれしいことだなと思っております。

○委員長

他に何か。何でも結構でございます。

○委員

以前に比べたら、すごく分かりやすい資料になったなど。私がちょっと理解に苦しむ立場でもございましたので、本当これだけの資料をよく毎回毎回そろえていただいて、本当ありがとうございます。

それから、コロナ禍で出前講座とか施設見学ができないのが残念ですけれども、私も一回参加させていただいて、非常に内容が分かりました。企業局のやってらっしゃることが理解できましたので、本当、商工会の自分たちの会にももちろん持ち帰って、できましたらそこにまた参加させていただきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長

全く私も同意見で、相当分かりやすい資料になったなと思います。何か以前に比べると、説明も非常に分かりやすかったなと思ってお聞きしていたところでございます。ありがとうございます。

何でも結構でございますので、何か御意見ございましたらお願いしたいと思います。

○委員

再生エネルギーですけれども、国のほうで2050年ゼロということで、かなり強気の計画を立ててきて、あれを見ていると本当にできるのかという心配もしているのですけれども、例えば企業局として一応水力、風力、太陽光と三本柱があるのですけれども、例えば水力、風力、太陽光の電源別の構成比、ポートフォリオを例えば2030年とか50年とか、そういった節目節目に、電源構成のシェア、ポートフォリオの長期計画、そういったものを策定する計画はあるのでしょうか。例えば何年に風力何%とか、水力何%とか、そういった内訳の経営計画。将来的に、例えば何年に各電源構成をどうするかと。そういった計画みたいなのはあるのでしょうか。

○企業局

長期的という意味では、電源構成比をどうするのかというようなどころまでの検討を現在行っているものではございません。現時点では御承知のとおり昨年度経営計画のほうを見直しましたので、それに基づいて進めていくということでございます。

それから、もちろん水力発電につきましては、現在リニューアルを進めているところではございますけど、これについては相当長期にわたって今後当然使用していくという前提でのリニューアルでございしますので、そういう意味で水力発電につきましては、相当程度将来的なところまである程度見通せるのではないかと思います。先ほど局長も申しあげましたように、太陽光、それから風力につきましては、現状で民間企業の参入というのが相当ございますし、企業局として、これ以上今増設をしていくというような計画というのは、現時点では検討していないというところでございます。

○委員長

ありがとうございました。

そのほか何か全体として御意見ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、企業局におかれましては、委員の御意見について十分に御検討の上、今後の企業局の業務運営に生かしていただきたいと思っております。

続きまして議事の5、その他について、事務局から説明をお願いします。

〔事務局説明〕

○委員長

最後にちょっと今日のまとめですが、そうはいってもカーボンニュートラルゼロの話もちょっとしていただいたりして、ある意味先導的な役割を今日の議事の4のところを見てもそうございまして、そう

いった積極的な経営は高く評価できるのではないかなというふうに思います。

それから、江津の分譲の率が次第に高くなっておりまして、これも個別企業への訪問などを各関係部局と江津市と引き続き連携をして、努力をしていただきたいと思います。一方で江津の工業団地に入っている企業の従業員の皆様とまたこれ多分県外の企業もございますので、また大学などの交流など今後あればいいかなという。これはちよっと本論とは外れますけれども、そういった計画を江津でできたらなと思ってございます。

それから、広報のPR事業は山陰中央新報とかSNS等、そしてスマートフォン対応のPRサイトを開設されたってということで、この広報活動についても高く評価できるのではないかなというふうに思います。

それから、途中でも御質問あったのですが、人材育成、これについて非常に特殊な人材育成についても引き続き継続して実施していただけたらというふうに思っているところでございます。

最後に、企業局の手堅くもあり、そして前向きな姿勢、これが今日の御説明等で非常に伺えましたので、高く評価できるのではないかなというふうに思っているところでございます。そろそろ時間も参りましたので、本日の議事を終了したいと思います。

委員の皆様方には議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。以上でございます。